

事務連絡

令和2年12月 7日

加盟団体各位

公益財団法人広島県体育協会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する警戒の強化について

平素より本協会事業推進にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、新型コロナウイルス感染症広島県対策本部から標記に係る周知依頼がありましたので情報提供します。

関係者への周知をよろしくお願ひします。

令和2年12月4日

公益財団法人広島県体育協会会長様

新型コロナウイルス感染症広島県対策本部長
広島県知事 湯崎 英彦

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する警戒の強化について（依頼）

本県では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、検査能力や医療提供体制の強化、経済活動支援等の取組を進めているところです。

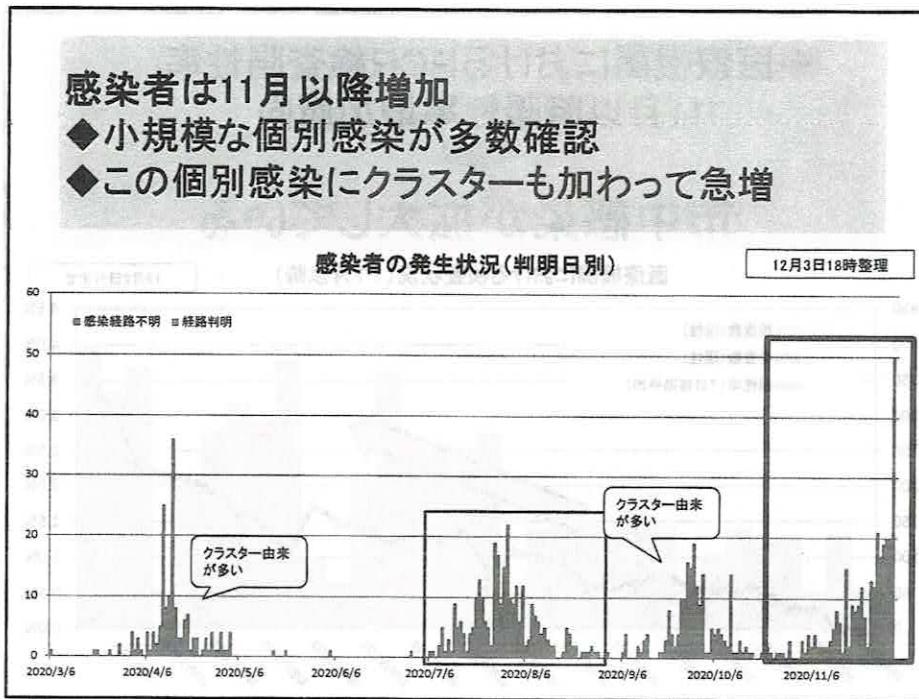
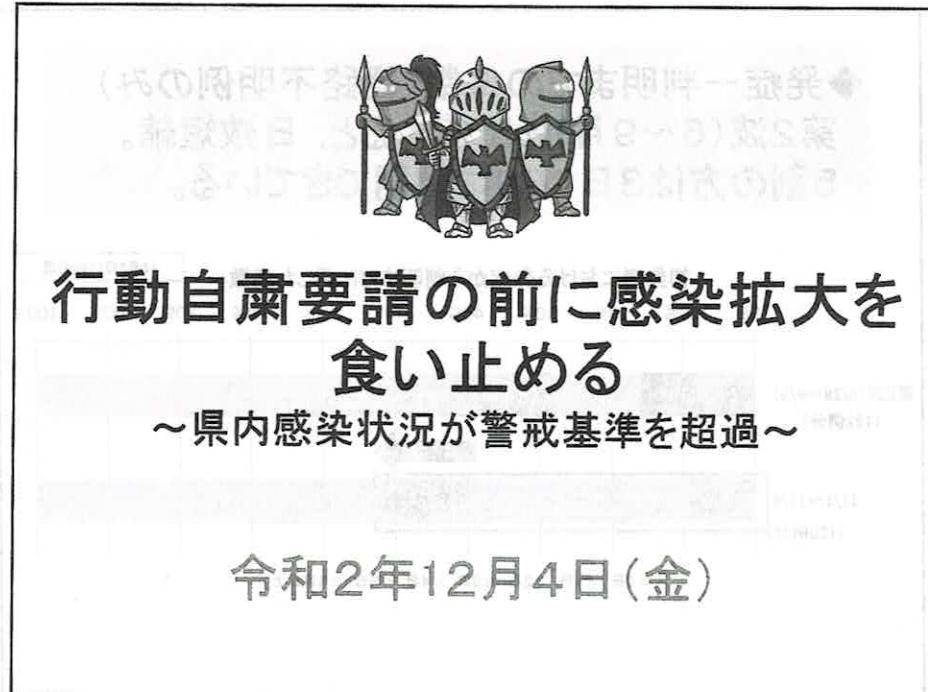
こうした中、11月以降新規感染者が増加傾向で推移し、かつ、クラスターの発生が加わったことにより、県内の感染状況は「ステージⅡ」に移行し、さらに警戒基準値を超過しました。

現在の感染者の増加傾向が続くと、他の感染拡大地域と同様に、外出自粛要請や酒類提供店の営業時間短縮要請等のより踏み込んだ措置を講じる必要が生じ、県民の生活や経済活動に大きな悪影響が及びます。そのような事態とならないよう、これ以上の感染拡大を最小限に抑え込んでいかなければなりません。

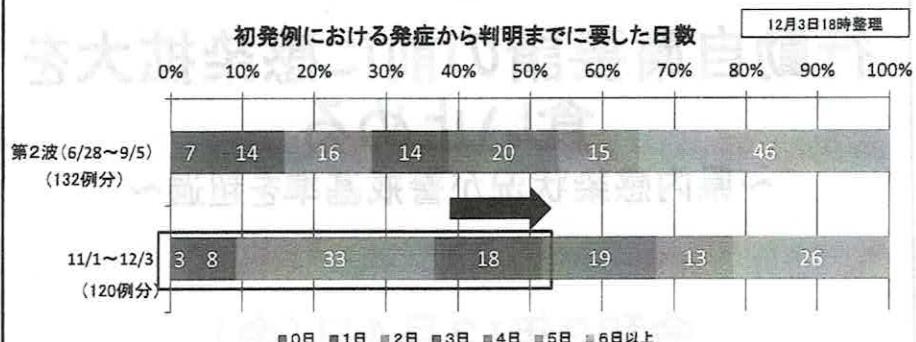
つきましては、別紙を参照して、今一度、基本的な感染防止対策や業種、競技団体等ごとのガイドラインに沿った対策の再確認と徹底をお願いします。

また、上記の内容について、貴団体の構成員や関係者の皆様に周知してください。

担当 地域政策局スポーツ推進課
(玉垣、林)
電話 082-513-2641

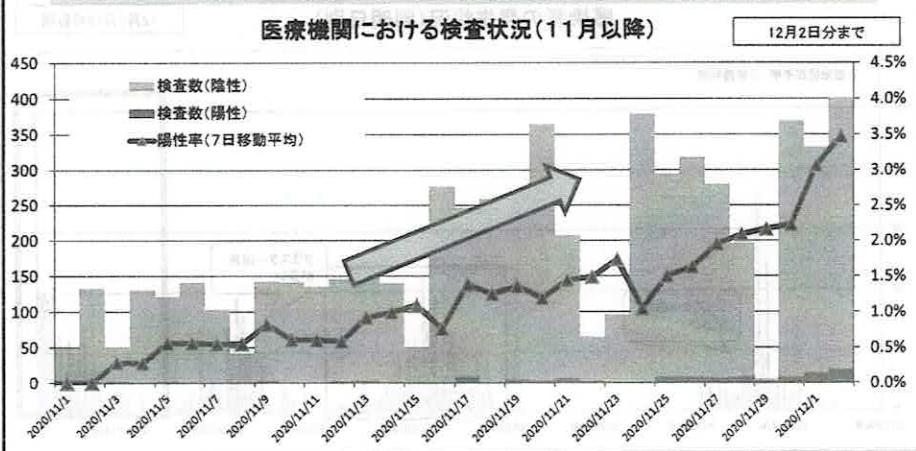


◆発症～判明までの日数(経路不明例のみ)
第2波(6～9月)と比較すると、日数短縮。
5割の方は3日以内に判明できている。



◆医療機関におけるPCR検査陽性率
11月以降陽性率増加傾向

↓
市中感染が拡大している

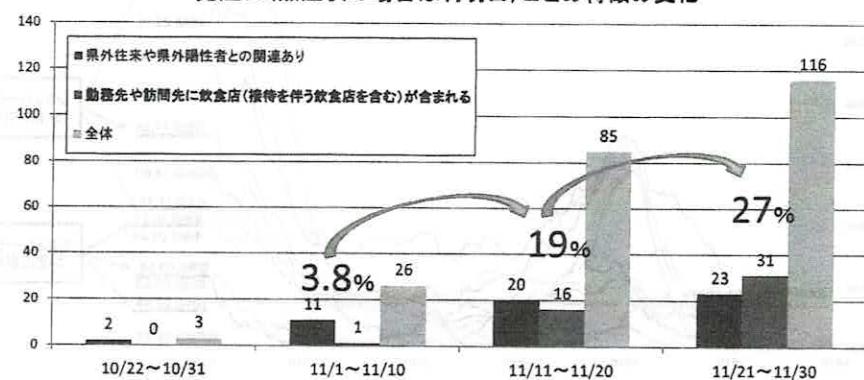


◆陽性者の特徴

11月初旬の「県外関連あり」に加えて、
11月下旬は「飲食店(接待飲食含む)」が増加(3.8%→27%)

12月2日公表分まで

発症日(無症状の場合は判明日)ごとの特徴の変化



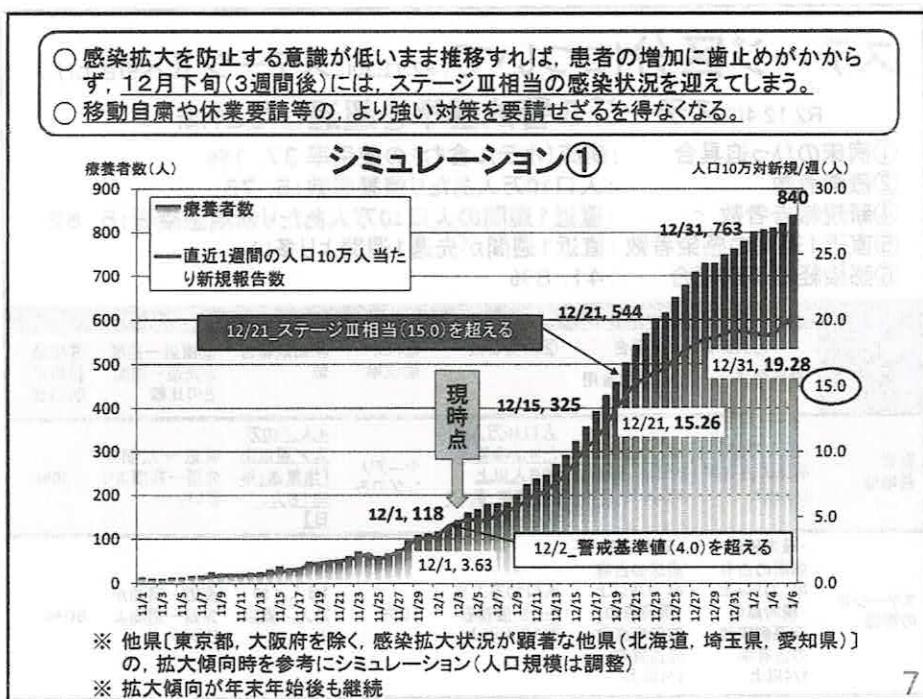
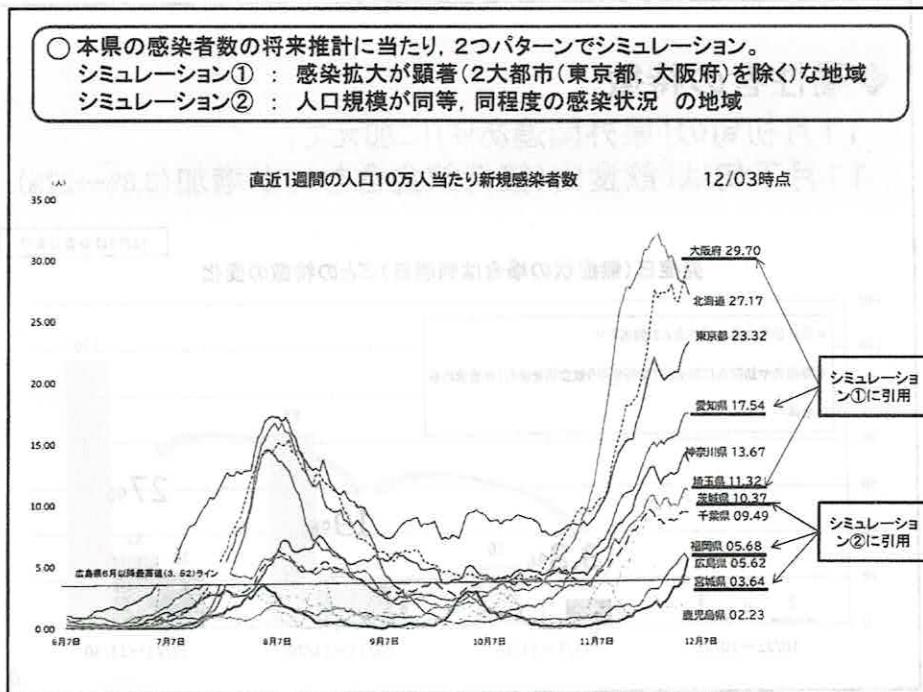
4

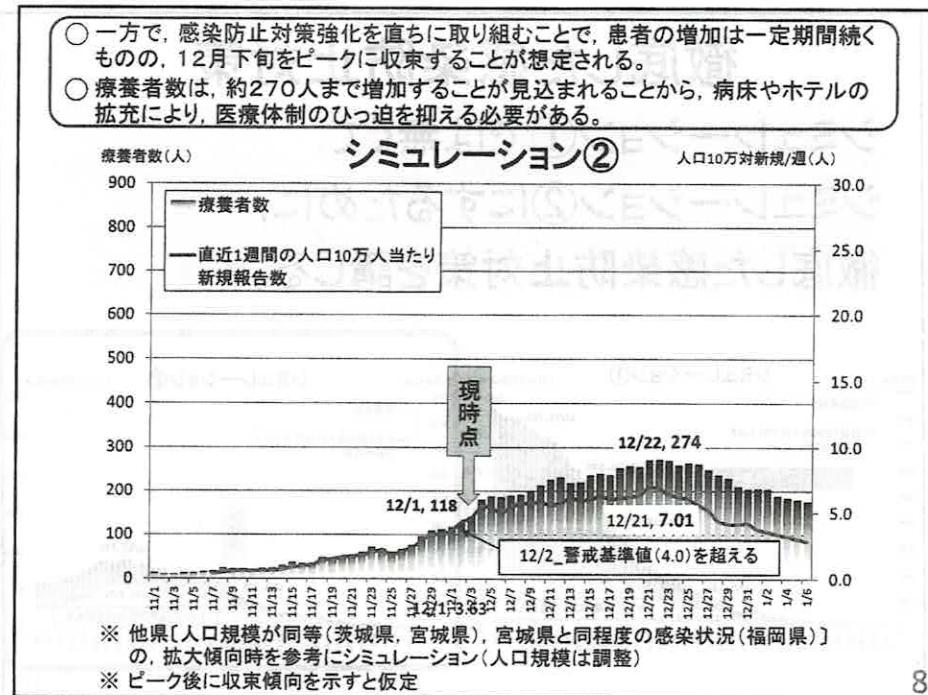
ステージ区分について (R2.11.30にステージⅡへ引き上げ)

R2.12.4にステージⅡ警戒基準を超過したと判断

- ①病床のひっ迫具合 : 病床(ホテル含む)の使用率 37.1%
- ②療養者数 : 人口10万人あたり療養者数: 5.76
- ④新規報告者数 : 直近1週間の人口10万人あたり新規感染者: 5.62
- ⑤直近1週間の感染者数 : 直近1週間が先週1週間より多い
- ⑥感染経路不明割合 : 41.8%

	医療提供体制等への負荷		監視体制	感染の状況		
	①病床のひっ迫具合 病床全体	②療養者数 うち重症者用病床		③PCR陽性率	④新規報告数	⑤直近一週間と先週一週間との比較
警戒基準値	・最大確保病床の占有率 1/5以上	・最大確保病床の占有率 1/5以上	人口10万人当たり全療養者数6人以上 【換算値:約170人/日】	モニタリングのみ	4人/10万人/週以上 【換算値:平均16人/日】	直近一週間が先週一週間より多い。 50%
ステージⅢの指標	・最大確保病床の占有率 1/5以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4以上	・最大確保病床の占有率 1/5以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4以上	人口10万人当たり全療養者数15人以上	10%	15人/10万人/週以上	直近一週間が先週一週間より多い 50%





現在の感染者増加傾向が続くと

12月中には、他の感染拡大地域と同様に、広島県でも、

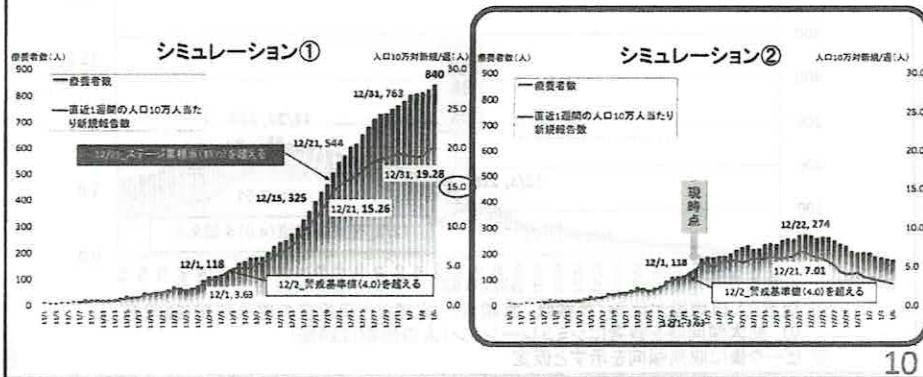
- ・不要不急の外出自粛要請
 - ・イベント開催基準の見直し
 - ・酒類提供店の営業時間短縮要請
 - ・GoToキャンペーンや観光補助事業の利用自粛 など
- 県民の命を守るために、感染拡大防止に向けて、より踏み込んだ措置を年末にかけて講じる必要がある。

何としても、その手前で感染拡大を食い止める

9

徹底した感染防止対策

シミュレーション①では無くて、
シミュレーション②にするために、
徹底した感染防止対策を講じる。



広島県の「積極ガード宣言」対策パッケージ(当面の取組)

1 医療機関と連携した病床の更なる確保

—現在236床の病床を、1週間以内に300床程度まで整備する

2 療養ホテルの確保

—現在150室の療養ホテルを、200室以上確保する(調整中)

3 医療・福祉施設での更なる対策

—医療機関、福祉施設を対象とした定期的な検査の実施
—従事者研修や施設内対策の徹底

4 飲食店等における対策

—「広島積極ガード店」の登録と、補助金制度も活用した衝立設置
もしくはマスク会食による飛沫感染の徹底した防止
—流川積極ガード診療所の設置
—ライブハウス等を対象とした感染防止対策補助制度の新設
—飲食店への感染防止対策確認のための訪問調査を実施中

11

広島県の「積極ガード宣言」対策パッケージ(当面の取組)

5 早期検査を可能にするための体制整備

- ーかかりつけ医か積極ガードダイヤルに連絡して、県内の全市町にある 1,016施設で受診、唾液検体の採取が可能
- ー新たにPCRセンターを設置

6 保健所設置市を含む県内市町との連携、情報発信

- ー「広島積極ガード宣言」に基づき県下一丸となった感染防止対策の取組
- ー保健所設置市も含む感染状況をCDC情報分析センターに集約して各種分析やデータサイトによる迅速かつ適切な情報発信
- ークラスター発生時の臨時の検査センター設置や保健師等の相互派遣 等

12

医療提供体制の強化

入院病床数の増床

236床⇒300床以上(最大500床以上)

ホテル部屋数の増室

150室⇒200室以上(最大700室以上)

13

広島PCRセンターの開設

場 所	① 流川積極ガード診療所(広島市中区新天地7-9) ② 別の場所でドライブスルー方式を検討中
開 設 日 時	① 流川積極ガード診療所 12月5日(土)~ 13:00~18:00 ② (ドライブスルー方式については調整中)
対 象 者	広島市内の高齢者施設、障害者(児)施設、医療機関、飲食店の従業員及び関係者
検 査 方 法	唾液によるPCR検査 ※ 検査結果は原則、翌日本人に連絡
費 用	無料
受 査 方 法	予約センターに電話で予約 Tel 080-9937-0003, 070-1543-0351 080-3544-7962, 080-2548-7816 ※ 予約受付時間…12:00~18:00 ※ 予約時に必要な情報…氏名、性別、年齢、住所、連絡先、勤務先(施設名や店名等)

14

広島PCRセンター(流川)利用の注意点

■ 密を避けるため、必ず予約センターに電話予約をお願いします

080-9937-0003 070-1543-0351

080-3544-7962 080-2548-7816

予約受付時間…12:00~18:00

■ 陰性証明は発行されません

施設内のクラスター対策 → 広島市内の高齢者施設

障害者(児)施設、医療機関の従業員及び関係者

飲食店対策 → 広島市内の飲食店の従業員及び関係者

15

事業主の方へ

- ★業種ごとのガイドラインに沿った対策の徹底
- ★体調が悪い従業員への積極的な検査

【事業所や職場における普段からの備えとして…】

- ・3密回避 マスク 手洗い・消毒 換気
- ・産業医の活用
- ・毎日の健康観察 体調不良の方に休暇を取らせ検査受検
- ・事業所内のパーテーション設置 間隔をとった人員配置
- ・消毒液設置 休憩所や手を触れる場所の消毒
- ・ガイドラインに沿った対策の徹底
- ・お知らせQR・COCOAの登録・活用
- ・BCP(事業継続計画)の策定検討
- ・テレワークや時差出勤の導入

16

事業主の方へ

- 特に、テレワークの実施に
努めてください。
- その際、事業所ごとに、
テレワーク率などの目標値を
設定し、実行してください。

17

事業主の方へ

仮に、従業員に陽性の方が出了場合

<本人>

- 1 事業所に陽性であった旨を連絡してください。
- 2 医師・保健所等の指示に従ってください。
- 3 医療機関に入院又は宿泊療養施設で療養となります。
- 4 症状が軽快すれば、発症後10日で退院(退所)となります。

<企業>

- ・保健所の積極的疫学調査に協力してください。
- ・濃厚接触者(必要に応じて接触者)は、PCR検査を受けていただき、自宅待機を指示してください。
- ・保健所に相談し、感染者の行動範囲を踏まえ、感染者の勤務場所を消毒してください。
- ・一般向けに周知が必要な場合は、保健所等に相談し、プレス発表やHPでの公表などを検討してください。
- ・コロナ対応のBCP(事業継続計画)を策定している場合は実行してください。

18

事業主の方へ

■ 特に、企業においては、
**保健所の積極的疫学調査で
従業員の2週間の行動履歴
 を確認しますので、
平時から勤務時間中の記録
の保管等 に努めてください。**

19

飲食店経営者の方へ

- 飛沫感染防止対策を徹底
してください。
- 補助金も活用して「衝立」を
座席間に設置 してください。
- もしくは
利用者に
マスク会食を
徹底 してください。

アクリルボード(衝立)設置例



20

飲食店経営者の方へ

- ・業界ガイドラインを全て遵守している
「広島積極ガード店」への登録
- ・入店時には「マスク、消毒、QR」
※広島コロナお知らせQRは、メールアドレスを登録した
時間と場所を管理するため、利用の都度、読み込みが必要



21

県民の皆さんへ

★「他の感染拡大地域への往来に注意」

- ◆ 感染が拡大している地域への往来は、慎重に判断する。
時期の変更やオンラインでの代替を検討する。

★「親しき仲にもマスクあり」

- ◆ 感染事例からは、マスクを外すシーンが共通してみられる。

★「休む勇気・休ませる配慮」

- ◆ 医療機関・高齢者施設、職場での
クラスター発生を阻止しなければならない。



「風邪かな?」
と感じたら! まず電話!

引用元: 厚生労働省「感染症対策のためのマスクの正しい使い方」

★「あなたの早期受診がみんなを守る」

- ◆ 発症から判明までの日数が短ければ
拡大しない可能性が高い。

22

県民の皆さんへ

- 保健所の積極的疫学調査への協力
- 感染防止対策が不十分な飲食店には行かない
- 懇親会や飲食時における感染防止対策の徹底

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分を悪くする間に、会話が低下する。
- また、頭痛が発症し、人との会話になり難い。
- 特に、飲酒などで疲労している状況下で、会話は、入浴後なども疲労している状況下で、感染リスクが高まる。
- また、同じ飲み会や飲食などの共同生活空間でリスクを高める。



場面② 大人歓や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、特にを持つ飲食、荷物の中に入れておいて飲食するなどして、感染リスクが高まる。
- また、大人歓、飛沫ばらまきの飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしで会話をすること、具体的にはマイクロфонを含めての会話リスクがある。
- マスクなしでの会話をしても、感染リスクがなくなくなるわけではありません。
- マスクなしでの会話をしても、感染リスクなどでのリスクが認識されている。
- マスクで会話をする場合でも注意が必要。



場面④ 狹い空間での共同生活

- 狹い空間での会話など、会話をしたり寝台を分けられたり、会話をされるなどして、感染リスクが高まる。
- 他の部屋やトイレなどの丸内部分で会話をされる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- せせらぎや静かな時間に入ることなど、寝かねばならない、他の部屋と寝かねることなどにより、感染リスクが高まることがある。
- 休息室、宿泊所、更衣室での会話が行われる場所で、感染リスクが高まっている。



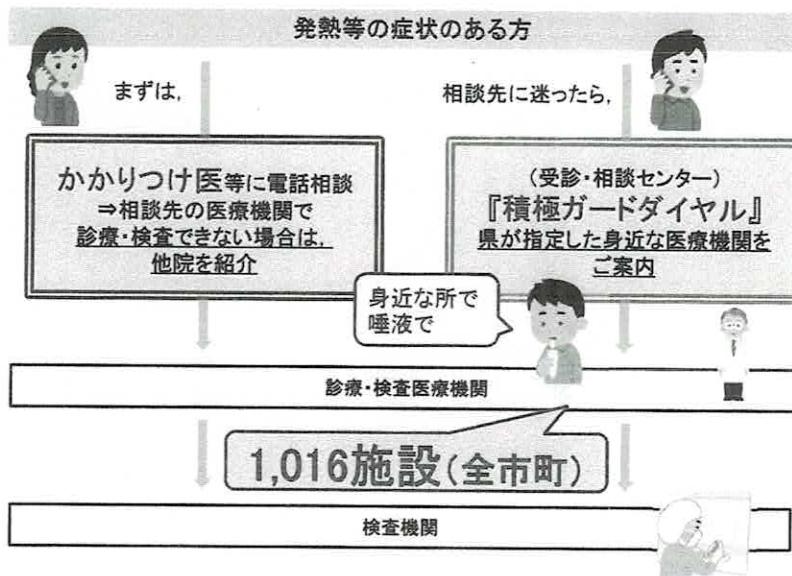
23

診療・検査医療機関の方へのお願い

県内の流行状況を踏まえて、
より積極的な検査を
実施してください。

24

発熱等の症状のある方の相談・受診の流れ [11月～]



25

